

様式第2号（第8条関係）

審議会等會議錄

様式第3号（第8条関係）

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
【1 開会】	
事務局若山	開会
【2 会長あいさつ】	
会長	(会長あいさつ)
【3 市長あいさつ】	
市長	(市長あいさつ)
【4 議事（1）「加須市水道管路更新計画（素案）」について】	
事務局石川	資料1、2「加須市水道管路更新計画（素案）」について説明
黒川会長	ただいまの説明について質疑はないか。
黒田委員	<p>加須市の石綿セメント管の残存延長が県内ワーストワンという点について問題だと感じる。昨今様々な水道管破裂等の事故もあり、安全に関する問題があるので、私達市民が安全に暮らせるよう是非取り組んで頂きたい。</p> <p>加須市の有収率の低さについても気になる。今は多様な飲料水が市販されていたりして水を使う機会が減っているが、やはり水道水が一番安全であると思うので、これだけの費用をかけて安全な水道水を供給し、私達の生活を守っていること等についてきちんと周知し、もっと水道水を使ってもらい有収率を上げるように周知方法を考えて頂きたい。</p>
事務局石川	<p>本市を含め全国的に人口減少に伴い水需要が減少しているため、水道事業の経営は将来的に厳しくなっていく。資料1の5、「管路更新の基本方針」では、管路更新率を1%/年としたが、現状でこれが実現できている自治体は都市部の財政的に豊かな自治体のみで、しかもそのような自治体ですら管路更新にかかる費用等を見越して水道料金を高く設定している。</p> <p>本市の場合、今まで水道料金を低く抑えてきたことが、結果的に現在の苦しい状況となっている。本市としても市民の方の安全を守るため危機感を持って対応していく。</p> <p>また、水道水の安全性についてホームページで周知しているものの、市民の方々の目に触れる機会が少ないので、周知方法を考えていきたい。</p>
町田委員	管路更新に要する更新費用は、物価高騰の賃上げなどで上昇傾向にあるが、そういったことは考慮していないのか。
事務局石川	<p>更新費用に物価等の上昇率を加味するのが理想だが、社会全体の流れもありなかなか難しいので、現状の工事費用で計算している。</p> <p>今後、計画の更新状況の評価に基づいて見直しを行う際に、物価の状況を反映させていく。</p>

町田委員	先ほどの説明だと、1%/年の更新は財政的な限界と認識した。今後1%/年の更新はかなり厳しいものになると思われるが、水道の安定供給のために1%/年の更新は最低限のものとして取り組んで頂きたい。
事務局石川	1%/年の更新率でも不足ではあるものの財政的に厳しい。資料2の10ページの表2-11にあるように、バブル期に大量に布設した管が一度に更新の時期を迎えるので、1%/年で更新した場合においても、将来的に100年ではなく120年、130年使わなければならない管が存在する可能性がある。そのため、管の重要性や劣化度合いなどから優先順位を決めて、最低限度の更新を行っていくという計画となっている。
石原委員	更新費用は水道料金にどう反映されるのか。
事務局石川	今回の水道管路更新計画は、管路をどう整備していくのかを定めたものである。料金については、来年度に水道アセットマネジメントという計画を策定し、その中で管路や浄水場の更新状況や費用を踏まえて検討していく。
石原委員	計画を推進するに当たって、建設機械や将来の人材に対する費用の概略や想定はあるのか。
事務局石川	全国的に土木人材や業者が不足している。国もその辺りを認識していて、全国レベルで対策が必要である。そこまで含めて解決するのも難しいので、管路としての計画を策定している。
石原委員	全国での水道管の更新が行われると、業者の奪い合いになる。
事務局石川	今は若い人たちが、土木のような暑かったり寒かったりする仕事に就きたがらない。土木業界も週休2日制といった若い人が働きやすい環境を整備してきている。
町田委員	市役所の中に工事部門を設けるような考えはないのか。
事務局石川	市職員として技術職の募集をしているものの応募が少ない。全国的には、広域化によって人材を確保しようという流れになっている。ただ、本市としてはそこまでの状況にはなっていないが、今後の課題にはなってくる。 広域化することよって、ある程度の人数や技術が維持できることにはなる。
町田委員	広域化したとしても、人数は変わらず担当する区域が広がるだけといった面もある。合併を繰り返していくても、必ずしも成功しているとは限らないので、合併で進めるのはどうかとは思う。
事務局石川	加須市としてはまだそういう状況ではないので、広域化の具体的なところでいえば、経費節減として水道資材の共同購入の検討を始めたところである。
石川委員	資料2の20ページの4.2「耐用年数（更新基準年数）の検討」の2行目「耐震性は無いものの」という記述について。この記述によって耐用年数を超えた管の耐震性に対しての不安を煽るようになるので、この記述は不要と思われる。耐震性の無い管は、耐用年数に関係なく大地震が来れば壊れてしまうも

	<p>のではないのか。</p> <p>また、この計画案は市ホームページなどで市民の方にも公開するのか。</p>
事務局石川	<p>先ほどご指摘いただいた耐震性の表記については修正する。</p> <p>当計画案の市民の方への公開については、本日の審議会で計画案としてご了承いただければ、市民の方々へ広く意見を募集するため、1月下旬から1ヶ月間パブリックコメントを実施し市ホームページへ掲載する予定である。</p>
黒川会長	<p>それでは、今回計画案についてお諮りしたいと思います。本計画案にご賛同いただけるということでよろしいでしょうか。</p>
委員	異議なし。
黒川会長	ありがとうございます。それでは皆様にご賛同いただきましたので、本計画について、今後は、計画案として策定に向けた準備を進めてください。
【5 報告（1）策定スケジュールについて】	
事務局若山	資料3【「加須市水道管路更新計画」の策定スケジュール】について説明
黒川会長	ただいまの説明について質疑はないか。
町田委員	資料3に書かれている第3回水道事業運営審議会の日程が2月26日から変更になるとのことだが、パブリックコメントの結果を考慮したためか。
事務局若山	パブリックコメントで大きな意見があった場合は大きな修正が入る可能性等もあるので、日程を再調整したいと考えている。
町田委員	なるべく早く日程を決めてもらえるとありがたい。変更後の日程は、2月26日から3月初旬までの間になるということか。
事務局若山	そうである。なるべく早く日程を決めて通知させていただく。
黒川会長	他に質疑が無いようなので、本日の議事はこれで終了とする。
【6 閉会】	
事務局若山	<p>以上を持ちまして、令和7年度第2回加須市水道事業運営審議会を閉会とさせて頂きます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。	
令和8年2月2日	署名 <u>黒川澄子</u>